



ごあいさつ

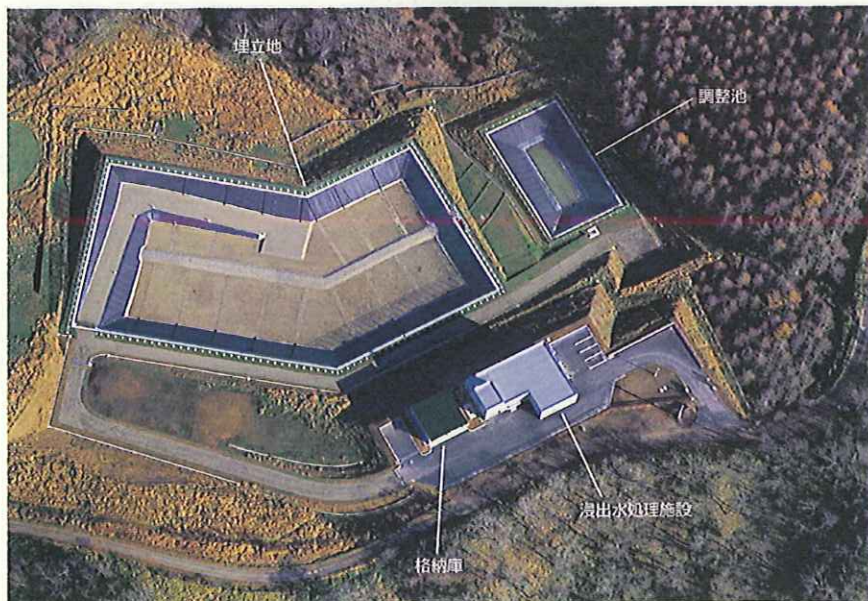
私たちは、「水・森・人を育むまち、おんべつ」の創造をめざして快適な暮らしの環境づくりに取り組んでいます。

しかし近年、生活様式や社会環境の変化に伴い、ごみの排出量は増加の傾向を示し、その質も多様化してきております。この廃棄物を衛生的かつ効率的に処理する施設としての一般廃棄物最終処分場が、平成10年度、11年度の2ヵ年継続事業によりこのたび完成の運びとなりました。

本施設は埋立に伴う浸出水の場外への浸透を防ぐとともに、集められた浸出水は処理施設内で生物処理、物理化学処理をされ周辺環境に何らの影響を及ぼすことのないよう放流される構造となっています。

今後、この施設を効果的に運用し、環境保全と生活環境の向上に努め、本町の素晴らしい自然を損なうことのないよう万全の体制で廃棄物処理に専ら務めます。

施設の整備にあたり、町民皆様をはじめ、関係各位並びに工事関係者より格別のご理解とご協力を賜りましたことに対して深く感謝申し上げます。



施設概要

名称：首別町一般廃棄物最終処分場
所在地：釧路市首別町尺別31
着工：平成10年5月
竣工：平成12年3月
総事業費：603,540千円

【埋立処分地施設】

総面積：23,000㎡
埋立面積：4,000㎡
埋立容量：10,000㎡
埋立対象物：不燃物・焼却残渣
埋立期間：平成12年度～平成26年度(15年間)
埋立方法：準好気性埋立
浸出水処理施設：10㎡/日(回転円板+凝集沈殿+砂ろ過)
遮水方式：表面遮水シート(1.5mm×2層)

【施設の特徴】

当最終処分場の埋立処分地は、山間部で比較的緩やかな傾斜地を利用し設置しており、ごみの流出防止のため高さ4mの土塁堤を設け、土塁堤上部にはごみ飛散防止フェンスを設置しています。周辺部には雨の流入を防ぐ側溝を設け、埋立地内は浸出汚水の地下浸透防止のため2重シート(低密度改良型ポリエチレンシート)による遮水を行うとともに、シートの損傷や接合部の検査と万が一の汚水の漏れを検知し早期の応急処置、補修が可能な真空管理システムを導入して不測の事故へ備えています。また、浸出水の円滑な排水を行うための集排水管を設け、更に埋立ごみ層内で発生するガスを大気中に放出するための発生ガス対策設備を設けた準好気性埋立構造としています。

浸出水処理施設では回転円板法、凝集沈殿法及び砂ろ過法により衛生的に処理し、生活環境や公共水域の水質の保全を図っています。



埋立地



調整池



施設紹介



環出水処理施設



格納庫



真空管理装置



計量室 (トラックスケール)

【各棟内部紹介】



管理制御室



ボイラー直轄ブロー室



薬品注入設備



生物処理設備(回転円板)



凝集沈殿処理設備(汚泥掻き寄せ機)



高度処理設備(砂ろ過器)



汚泥処理設備(汚泥脱水機)



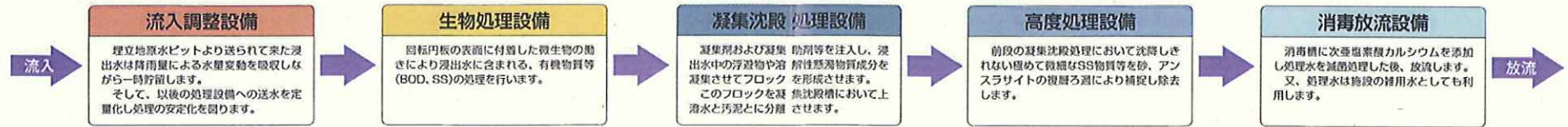
汚泥処理設備(ケーキホッパー)



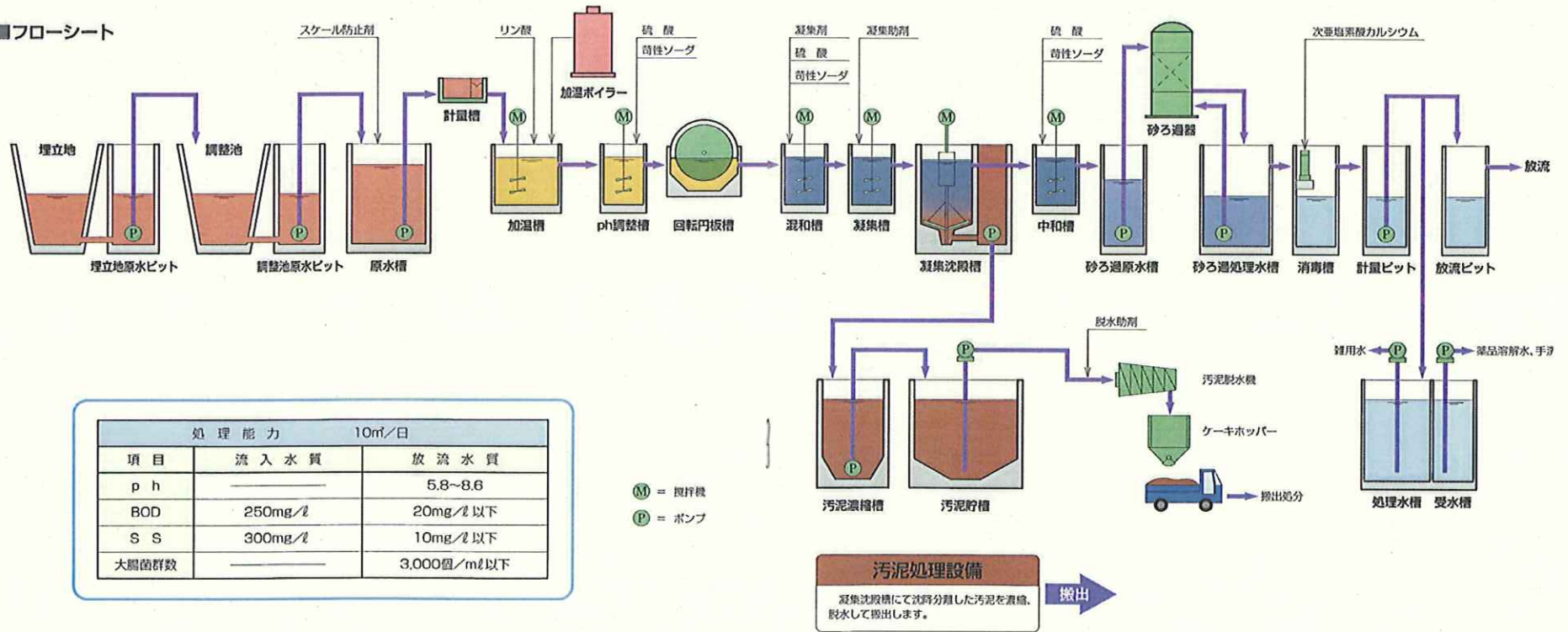
浸出水処理施設

生物・物理化学処理によって生活環境 及び公共水域の水質を守ります。

■施設概要説明



■フローシート



処理能力 10m ³ /日	
項目	流入水質
p h	5.8~8.6
BOD	250mg/ℓ
S S	300mg/ℓ
大腸菌群数	3,000個/ml以下
	放流水質
p h	5.8~8.6
BOD	20mg/ℓ以下
S S	10mg/ℓ以下
大腸菌群数	3,000個/ml以下